

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

①対象者	当センターで膵病変に対して超音波内視鏡下針穿刺(EUS-FNA)を受けた患者さん			
②研究課題名	膵 EUS-FNA 検体における各種蛋白発現の後ろ向き検討			
③実施予定期間	当院倫理審査委員会承認日 ~ 2020 年 12 月			
④実施機関	静岡県立静岡がんセンター			
⑤研究代表者	氏名	松林宏行	所属	内視鏡科
⑥当院の研究代表者	氏名	松林宏行	所属	内視鏡科
⑦使用する検体・データ	膵 EUS-FNA で得られた病理組織・カルテ記載事項（化学療法の奏効や有害事象の発現等の情報）			
⑧目的	近年、膵がんに対して様々な抗がん剤（ゲムシタビン,S1,オキサリプラチン, etc）が用いられるようになりした。膵がん切除標本を用いた研究では、幾つかの薬剤代謝蛋白の発現レベルが抗がん剤の奏効性や有害事象レベルと相関するというデータが報告されて来ています。しかし化学療法を受ける方は膵癌の切除術を行っていない場合が多く、この場合抗がん剤治療前に行う膵 EUS-FNA 検体が病理学的資料になります。EUS-FNA は今日広く行われている内視鏡的病理検体採取法ですが、採血針と同径の細い針が用いられるため、がん診断以上の情報が安定して得られるかはわかっていません。本研究では過去の EUS-FNA 検体を用い、抗がん剤治療に関与し得る蛋白発現の評価が可能か、実際に抗がん剤の奏効性と相関がみられるかを評価させていただきます。			
⑨方法	当センターに保管されている膵 EUS-FNA の検体ブロックを薄切し、抗がん剤治療に関与する蛋白の免疫染色を行い顕微鏡評価します。カルテ記録の抗がん剤の治療情報と比較し、これら蛋白発現との間に相関があるかを調べさせていただきます。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2019 年 12 月 10 日		
⑪公表	研究成果は学会や医学論文などに発表されることがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は使用しません。			
⑬知的財産権	知的財産に関する権利（特許権等）は、静岡がんセンターに属します。			
⑭利益相反	本研究は企業との共同研究ではなく、企業からの資金提供もありません。			
⑮資料の参照	本研究について詳しく知りたい場合は、臨床研究事務局までご連絡ください。			
⑯問い合わせ	連絡先	臨床研究事務局	電話	055-989-5222（内線 3379）

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長

静岡がんセンターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先へお問い合わせ下さい。

	事務局にて、お問い合わせ内容をお伺いいたします。 後日、あらためて研究者より直接回答いたします。
--	---

本研究のノウハウやアイデアに関する情報については公開できませんのでご了承下さい。

静岡がんセンター病院長